

体調不良児対応型に関する調査票

返信期限：平成 25 年 7 月 26 日（金）

- 厚生労働省の病児・病後児保育事業（体調不良児対応型）補助対象施設の一覧により、調査対象施設を把握させていただき、統計処理のため、本ページ右上に整理番号を附しております。
- 統計処理やデータの公開におきましては、各施設名が特定されることはありませんので、実際の現状をご回答ください。
- 調査結果は、本研究目的以外に用いられることはありません。
- 平成 25 年 7 月 1 日時点の状況をご記入ください。なお、利用状況・職員状況に関しては、設問内に示した時期・期間について、ご記入ください。
- C.職員状況及び D.経費に関しては、ご記入にお手数をおかけして申し訳ございませんが、**基準等の重要な検討用資料となりますので、何卒ご協力をお願いいたします。**
- 【記入方法】小さい四角□は、該当する項目の□に✓（チェック）を入れて下さい。
大きい□には、文字や数字を記入してください。

A. 貴施設の体調不良児対応型に関する基本情報について

1. 体調不良児対応型事業開始年月をご記入ください。

西暦 □ 年 □ 月

2. 対象児年齢をご記入ください。

最低年月齢：生後 □ 才 □ か月～最高年齢：□ 才

3. 定員をご記入ください。

保育所定員 □ 人 体調不良児対応型定員 □ 人

4. 体調不良児対応医務室・余裕スペース等の面積をご記入ください。□ m²

5. 開所・開室日を1つご選択ください。

- ☐ 1. 平日のみ
☐ 2. 平日と土曜日
☐ 3. 平日と土・日曜・祝日

6. 体調不良児対応可能時間帯をご記入ください（開所・開室している曜日のみ）。

- ☐ 1. 平日 午後 □ 時 □ 分まで
☐ 2. 土曜 午後 □ 時 □ 分まで
☐ 3. 日曜・祝日 午後 □ 時 □ 分まで

B. 体調不良児対応型の平成 24 年度（平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月）利用状況について

7. 平成 24 年度 1 年間の延べ体調不良児発生数をご記入ください。□ 人

8. 平成 24 年度 1 年間の月別延べ体調不良児発生数をご記入ください。

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	人
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	

9. 平成 24 年度 1 年間の年齢別延べ体調不良児発生数をご記入ください。

0 才	1 才	2 才	3 才	4 才	5 才	6 才	人
□	□	□	□	□	□	□	

C. 貴保育所の看護職員（看護師・保健師・助産師・准看護師）について

10. 下記の計算式に基づき、平成 25 年 6 月 30 日現在の職員状況について、常勤換算によりご記入ください。

職員 (平成 25 年 6 月 30 日現在)	常勤職員数(小数点1位まで) ^注	非常勤職員数(小数点1位まで) ^注
看護職員	人(常勤換算 . 人)	人(常勤換算 . 人)

【常勤換算の計算式】 $A(1\text{週間の勤務延べ時間の総数}) \div B(\text{常勤職員が勤務すべき1週間の時間})$

1か月に数回の勤務である場合は、 $\{1\text{か月の勤務延べ時間の総数} \div \text{常勤職員が勤務すべき1週間の時間数} \times 4(\text{週})\}$

【例】常勤職員が勤務すべき1日の時間数を7.5時間とした場合

看護師 常勤:1日7.5時間勤務×週5日(月～金)

看護師 非常勤:1日7.5時間勤務×週2日(火・水)

看護師 非常勤:1日7.5時間勤務×週3日(月・木・金)

【常勤看護師の常勤換算計算式】 $= A(7.5\text{時間} \times 5) \div B(7.5\text{時間} \times 5) = 1$

【非常勤看護師の常勤換算計算式】 $= A(\text{の}7.5\text{時間} \times 2 + \text{の}7.5\text{時間} \times 3) \div B(7.5\text{時間} \times 5) = 1.0$

常勤 1人(常勤換算 1.0人)
非常勤 2人(常勤換算 1.0人)

注)計算式によって得られた数値は、小数点以下第2位を四捨五入して、小数点第1位まで計上してください。
得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上してください。

11. 看護職員の平均的な1週間あたりの合計勤務時間数、業務内容及びおおよその対応時間についてご記入ください。

1週間あたりの合計勤務時間数

- ☐ 1. 体調不良児の看護と保護者対応
- ☐ 2. 園児の健康・発育等の把握と記録・家庭への連絡
- ☐ 3. けが・事故への対応と事故防止等安全対策
- ☐ 4. 園児への健康教育・職員への保健指導
- ☐ 5. 保健便り発行・感染症発生時の対応
- ☐ 6. 嘱託医・行政・医療機関等との連絡調整
- ☐ 7. 保育士業務(保育補助)・保育士への助言
- ☐ 8. その他

	時間
	時間
	時間
	時間
	時間
	時間
	時間
	時間

具体的な業務内容を箇条書きでご記入ください。

-
-
-

D. 平成 24 年度体調不良児対応型保育の運営経費等について

12. 平成 24 年度(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)の状況(決算額)を、決算書をもとにご記入ください。なお、換算人員の計算式は C10 と同様下記の通りですが、平成 24 年 6 月 30 日の状況で算出ください。

○ 常勤

職種	換算人員 ^注	給与総額	平均勤続年数
看護職員	. 人	千円	年

○ 非常勤

職種	換算人員 ^注	給与総額	平均勤続年数
看護職員	. 人	千円	年

【常勤換算の計算式】 $A(1\text{週間の勤務延べ時間の総数}) \div B(\text{常勤職員が勤務すべき1週間の時間})$

1か月に数回の勤務である場合は、 $\{1\text{か月の勤務延べ時間の総数} \div \text{常勤職員が勤務すべき1週間の時間数} \times 4(\text{週})\}$

注)計算式によって得られた数値を、小数点以下第2位を四捨五入して、小数点第1位まで計上してください。

得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上してください。

E. その他

13. 病児・病後児保育従事に際しての保育士・看護師への研修の有無について、1つご選択ください。

- ☐ 1. 実施している
☐ 2. 実施していない → 16へおすすみください

14. 実施研修の主催機関をご選択ください。

【 複数回答可】

- ☐ 1. 自施設 ☐ 2. 全国病児保育協議会 ☐ 3. 保育団体
☐ 4. 市町村 ☐ 5. 都道府県
☐ 6. その他

15. 実施研修の内容をご選択ください。

【 複数回答可】

- ☐ 1. 児童の発達と学び ☐ 2. 健康管理と緊急対応 ☐ 3. 病児・病後児保育実習
☐ 4. その他

16. 病児・病後児保育従事に際しての保育士・看護師への研修の必要性について、1つご選択ください。

- ☒ 1. 必要である ☐ 2. 必要でない ☐ 3. わからない



○ 必要と思われる研修内容をご選択ください。

【 複数回答可】

- ☐ 1. 児童の発達と学び ☐ 2. 健康管理と緊急対応 ☐ 3. 病児・病後児保育実習
☐ 4. その他

17. 貴施設の体調不良児対応において、十分にできていないと思うものをご選択ください。

【 複数回答可】

- ☐ 1. 室内感染対策 ☐ 2. 医療機関との連携
☐ 3. 緊急時バックアップ体制 ☐ 4. 体調不良児の状態にあわせた保育
☐ 5. 体調不良児に対応できる保育士の研修 ☐ 6. 体調不良児に対応できる看護師の研修
☐ 7. その他 → 具体的に

18. 貴施設の体調不良児対応において、困っている課題をご選択ください。

【 複数回答可】

- ☐ 1. 体調不良児のための医務室等の確保 ☐ 2. 体調不良児数の日々の変動
☐ 3. 利用のニーズが多い ☐ 4. 利用が少ない
☐ 5. 体調不良児に対応できる保育士の確保 ☐ 6. 体調不良児に対応できる看護師の確保
☐ 7. 人件費等、採算の問題（赤字） ☐ 8. 体調不良児をあずかるリスク
☐ 9. 指導医への経費補助が少ない
☐ 10. その他 → 具体的に

19. 今後、貴保育所での現在の体調不良児対応型から病児・病後児対応型への参入に関してのお考えを、1つご選択ください。

- ☐ 1. 病児・病後児対応型への参入を考えている
- ☐ 2. 病後児のみであれば考える
- ☐ 3. 上記18の課題が解決・クリアされた時に考える
- ☐ 4. 現在の体調不良児対応型を継続し、病児・病後児対応は今後も実施しない
- ☐ 5. 現在の体調不良児対応型も継続は難しいと考えている

20. 現在の体調不良児対応における課題について、ご意見がありましたらお書きください。

21. 体調不良児対応の現場からみえる今後必要な子ども・子育て支援策について、ご意見がありましたらお書きください。

22. 本研究では、体調不良児対応における課題のみでなく現場でのグッドプラクティスを把握していきたいと考えております。貴施設にて先駆的取組や工夫等がありましたら、是非、その概要をご紹介ください(利用者、利用児、運営、保育士、看護師等のいずれに対しての取組・工夫でも構いません)。

23. 本調査集計結果に基づき、より良い体調不良児対応体制の提言を具体化していくために、第2次調査を平成25年度中に実施する予定としておりますので、ご協力いただけましたら幸いです。第2次調査へのご協力の可否についてご選択ください。

- ☐ 1. 協力する
- ☐ 2. 協力しない

質問は以上で終了です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

7月26日(金)までに、添付の返信用封筒にてご返送ください。

なお、体調不良児対応の先駆的取組や工夫等につきまして、後日あらためて本調査研究班から問い合わせをさせていただきますが、その際はどうぞよろしくお願い申し上げます。